

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月21日（火）

1. 基本事項

施策		自然・文化を生かした景観形成		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	都市整備部 都市計画課
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	目的・対象	地域の重要な資源である緑の豊かさを市民が実感し、日常的に触れ合える機会の拡大を目指し、自然や歴史・文化等を生かした特色ある公園や、市民に身近な公園の整備を進めるとともに、自然の森の保全・活用を図る。	都市整備部	都市計画課
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり				
	小項目	3	自然・文化を生かした景観形成				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	市民意向の把握をするためアンケート調査を行った結果、身近な緑が減少あるいは緑の質が落ちていると感じていることなどより、施策重要度は平均よりやや低く、満足度はほぼ平均値となっている。			施策推進のための主な取組	1. 鐘撞堂山の森林等の公共的な緑地の維持管理 2. 公園の整備、維持管理 3. 景観事務		
施策を取り巻く社会状況等	市内全域に屋敷林が点在し、防風林や自然林の存在など多くの緑に恵まれている。 公園については、一部の施設で老朽化が進んでいる。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				未達成	達成	達成	達成	
成果指標	身近に自然に親しめる環境があると思う市民の割合	%	-	70.84	71.21	71.58	71.95	72.30
	深谷市民まちづくりアンケート		68.30	69.80	72.20	73.50	80.70	
	市内に魅力的なまち並み・景観があると思う市民の割合	%	-	44.10	44.60	45.10	45.60	46.10
	深谷市民まちづくりアンケート		38.70	42.00	47.40	51.00	52.10	

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>身近に自然に親しめる環境があると思う市民の割合は大幅に目標値を超えた。鐘撞堂山や公園施設の維持管理について、限られた予算でより良い事業展開が図られた結果である。今後の予算的持続性に注視しながら維持管理を継続していく。 「渋沢栄一翁の顕彰とレンガを活かしたまちづくり」の代表的事業であるレンガのまちづくり補助金については、PRの効果により補助件数は上昇傾向にあり、中央土地区画整理事業による景観に配慮したインフラ整備と併せ、魅力あるまちなみが形成され始めた。</p>				
			評価者	都市計画課長 中島 隆

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然を保全するため、鐘撞堂山の森林などの維持管理が必要である。 市内の公園については市民が親しみやすい整備や、安心安全な施設の維持管理を継続していく。 「渋沢栄一翁の顕彰とレンガを活かしたまちづくり」については魅力あるまちなみを形成するため、レンガのまちづくり事業による対象建築物への補助と中央土地区画整理事業による景観に配慮したインフラ整備を継続していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>今後も鐘撞堂山の森林の保全や、市民の憩いの場である公園を安心安全で快適な環境の確保に努めることを継続していくことにより、景観の保全も図っていく。 「渋沢栄一翁の顕彰とレンガを活かしたまちづくり」については、渋沢栄一翁とレンガの関係性に対し、市民等が理解を深める活動を継続するとともに、レンガのまちづくり補助金による民間建築物の効果と、中央土地区画整理事業による景観に配慮したインフラ整備を継続していくことにより、歴史的背景を活かした新たなまちなみ形成を図り、魅力的な景観の創出を推進していく。</p>	
所属長	都市整備部長 田嶋 英生